

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	栃木県家庭教育支援チーム (呼称: 栃木県家庭教育オピニオンリーダー連合会)
②活動拠点	栃木県内全市町(県内 32 支部、各公民館、コミュニティセンター等)
③活動範囲	同上
④組織体制	371 人 家庭教育オピニオンリーダー養成研修受講生
⑤活動開始年度	昭和63年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) (TEL) (E-mail)

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施
③活動内容	【具体的な活動内容】 家庭教育支援(乳幼児期から思春期の保護者への学びの支援) ●親の子育てに関わる相談活動および、学習活動

	<ul style="list-style-type: none"> ●地域のコミュニティ作り(親子の居場所づくり・交流活動) ●行政機関や市町との子育てに関わる連携協力 ●父親の子育て支援活動
<p>④活動の成果 (活動実績がある場合)</p>	<p>近年コロナ禍の影響により、保護者と接する機会が多い子育てサロンや親子交流活動等の家庭教育支援活動が中止されたり縮小されたりして、親子のコミュニケーション不足や、地域社会から孤立した状況での子育て家庭の増加を感じます。活動が再開されていますが、まだまだ子育てサロンや親子交流活動等の家庭教育支援活動が十分ではなく、孤立した状況での子育て家庭の増加を更に感じます。</p> <p>子どもたち自身にもかけがえのない存在であるという自己存在感や自尊心を育むことが大切であるということに気づいてもらうために、関係者に対して、親や家族からの温かな言葉かけやスキンシップなどの適切且つ温かいコミュニケーションのあり方、時代の流れに応じた家族のルールなどを学ぶ機会を提供し続けています。</p> <p>また、地域での多様な交流、体験活動をとおして、子どもたちが社会性や他者との関わり方、思いやりやルールを学びながら、集団の中での交流や体験活動の重要性を理解する場とし、地域の方々も子どもたちと交流することで、子どもたちの現在の問題や環境の変化を共通理解し、共に解決に導ける場となっています。</p> <p>子どもたちが健やかに元気に成長するよう、会員が意識を高く持ち、支援活動、研修への参加など、真摯に取り組んでいます。</p>
<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<p><input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</p> <p><input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施</p> <p>()</p>